

SDGs スタートアップセミナー2026 秋実施報告

2026 年 9 月 26 日

PMI 日本支部

SDGs スタートアップ研究分科会

辻 孝弘

去る 9 月 19 日（土）、SDGs スタートアップ研究分科会主催により、「SDGs スタートアップセミナー2026 秋～想いを形に、社会課題を解決する事業づくりの壁を乗り越える～」を開催しました。講演内容や当日の様子をご報告します。

※イベントページ [SDGs スタートアップセミナー2026 秋](#)

1. SDGs スタートアップ研究分科会の概要

PMI 日本支部は、2019 年 10 月から内閣府「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」において「SDGs スタートアップ研究分科会」を設け、SDGs をテーマとするプロジェクトを立ち上げ・推進する方法の開発・普及を図るために活動しています。

現在では SDGs プロジェクトのマネジメント手法を学ぶ「方法論習得コース」と、実際に事業として行っている SDGs プロジェクトを支援する「実践支援コース」の二本立てのコースを設け、それぞれに内閣府「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」の全会員団体に門戸を広げて、活動しています。

2026 年度は、方法論習得コースとして 3 回（10 月、12 月、2 月）のワークショップ開催を予定しています。また実践支援コースは、参加団体毎の個別活動を現在進行形で実施しています。

今回のセミナーは、参加された聴衆の方にこれらの分科会活動を広く知っていただき、また聴衆の皆様自身が何等かの社会課題と向き合ったときに有効となる「SDGs スタートアップ方法論」を理解いただくことを目的としています。

2. 「SDGs スタートアップセミナー2026 秋～想いを形に、社会課題を解決する事業づくりの壁を乗り越える～」概要



図 1 セミナー募集ページ アイキャッチ

- **開催日時**：2025 年 9 月 19 日（土）9 時 30 分～12 時 00 分
- **会場**：オンライン(eventos 配信)
- **主催**：一般社団法人 PMI 日本支部
- **後援**：地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム
- **開催趣旨**：「社会課題解決をビジネスとして成立させた実践事例」と、PMI 日本支部が提唱する SDGs 事業の立ち上げや推進に有効な「SDGs スタートアップ方法論」を学んでいただく機会の提供。

<アジェンダ>

1.オープニング

登壇者：稲葉 涼太 一般社団法人 PMI 日本支部 理事

2.講演 1 「できない」を「できた！」に変える。AI 時代の体験価値をみんなでつくる

講演者：土原 翔吾 氏 NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 理事 事務局長

3.講演 2 「ブームとしての SDGs」から経営テーマとしてのサステナビリティへ ～サステナビリティ推進が止まる理由と処方箋～

講演者：稲葉 涼太 一般社団法人 PMI 日本支部 理事

4.クロージング

<登壇者>

○NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 理事 事務局長 土原 翔吾 氏

○一般社団法人 PMI 日本支部 理事 稲葉 涼太

○総合司会：一般社団法人 PMI 日本支部 SDGs スタートアップ研究会 西原 真仁

<当日の概況>

当日は、PMI 日本支部のセミナー配信システム「eventos」を通じて、オンラインでセミナーを配信しました。本イベントは 60 名の方にお申込みいただきました。昨年以上に SDGs というテーマに対する関心の低下が懸念されましたが、今年も昨年同様に「SDGs 事業のスタートアップ」というテーマに対して継続的な関心が寄せられていることがうかがえました。

セミナー冒頭では、オープニングの挨拶として、一般社団法人 PMI 日本支部 理事の稲葉 涼太より、PMI 日本支部の活動状況や SDGs との関わり、取り組みについて紹介を行いました。



図 2 オープニング挨拶（一般社団法人 PMI 日本支部 理事 稲葉 涼太）

続いて講演 1 では、NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 理事 事務局長の土原 翔吾氏より、“「できない」を「できた！」に変える。AI 時代の体験価値をみんなでつくる”と題し、SDGs 実践の事例をご紹介いただきました。

土原氏からは、同法人が掲げる合言葉“みんなの「できない」を「できた！」に変える。”を軸に、神戸・須磨でのユニバーサルビーチの立ち上げから、全国展開を見据えた取り組みの歩みが語られました。障がいの有無や年齢にかかわらず、誰もがともに学び、ともに楽しめる場をつくることを目指し、海辺での体験機会をひらいてきた経緯と、その背景にある思いが紹介されました。また、AI 時代が進むからこそ、人の感情を動かす「体験価値」が一層重要になるという視点も示され、単なるイベントにとどまらない社会的意義が共有されました。

あわせて、本セミナーのテーマとも重なる実践例として、企業・行政・地域が連携しながら事業を形にしていくプロセスや、多様な立場の人々が関わることで生まれる価値についても紹介されました。参加者の「できない」を「できた」に変えていく小さな挑戦の積み重ねが、事業の広がり和社会的インパクトにつながっている点は、持続可能な取り組みを考えるうえで大きな示唆となりました。

最後に、社会を動かすためには、正しさを押しつけるのではなく、誰もが自然に参加したくなる体験を設計することが重要であるとまとめられました。一人ひとりの小さなチャレンジが、より大きな変化へとつながっていく——その可能性を感じさせる講演となりました。



図 3 講演 1 の様子（NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクト 理事 事務局長 土原 翔吾氏）

10 分の休憩を挟んで行われた講演 2 では、一般社団法人 PMI 日本支部理事の稲葉 涼太より、“「ブームとしての SDGs」から経営テーマとしてのサステナビリティへ ～サステナビリティ推進が止まる理由と処方箋～”と題し、SDGs スタートアップ研究分科会の概要や活動状況に加え、新規の事業立ち上げに有効な SDGs スタートアップ方法論について、

講演を行いました。

SDGsを一過性の流行として捉えるのではなく、経営や事業推進における実践的なテーマとして位置づけ直す視点が示され、参加者にとって今後の取り組みを考えるうえでの具体的な示唆が共有されました。

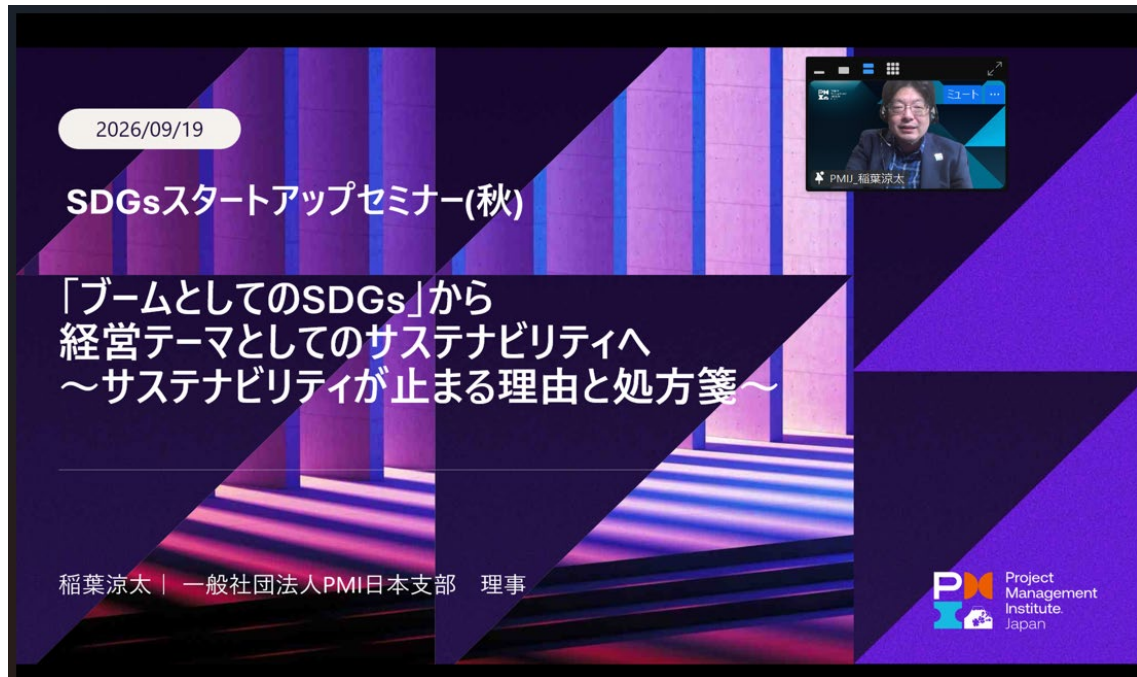


図 4 講演 2 の様子（一般社団法人 PMI 日本支部 理事 稲葉 涼太）

今回のセミナーは、リアル視聴者からの反応も活発で、Live アンケートでも延べ 7 件の質問が寄せられるなど、講演中から高い関心がうかがえました。SDGs をめぐるテーマは年々複雑さを増していますが、今後もこうしたセミナーを通じて、社会課題の解決に挑む起業家や実践者の取り組みを発掘し、多くの方に紹介していきたいと考えています。

本セミナーが、SDGs 事業を担う方々や、これから SDGs 事業に取り組もうとする参加者にとって、効果的な事業推進の一助になれば幸いです。

3. 今後の活動予定

2026 年度も、全 3 回の講義・ワークショップで SDGs スタートアップ方法論を体得する昨年までのベーシックコースに該当する研修コース『[企業・NPO・行政のための SDGs スタートアップ方法論習得コース](#)』を開講します。現在、参加いただく団体の募集中です。

本年度は 10 月 17 日(土)初回のキックオフ、オンライン開講(参加費無料)です。

▼企業・NPO・行政のための SDGs スタートアップ方法論習得コースお申込みページ▼

<https://www.pmi-japan.org/sdgs/2026/08/09/post-1587/>

4. SDGs スタートアップ研究会からのご案内

私たちは「知・情・意」をテーマに Facebook グループ、Note、YouTube で定期的に情報発信を行っています。

①YouTube：『SDGs スタートアップ方法論』及びベーシックコース概要は YouTube もご参照ください。

[SDGs スタートアップ研究分科会 YouTube チャンネル](#)

②Note：私達の活動に関する想いを発信しています

[SDGs スタートアップ研究分科会 note](#)

③Facebook グループ：私たち SDGs スタートアップ研究分科会活動の関係者、協力や応援してくださる方たちのコミュニティグループです。

[SDGs スタートアップ研究分科会 Facebook グループ](#)

※私たちの活動の詳細については、PMI 日本支部公式サイトにてご案内しております。

<https://www.pmi-japan.org/sdgs/>

※お問合せ先：PMI 日本支部 SDGs スタートアップ研究分科会担当 (<mailto:sdgs@pmi-japan.net>)